



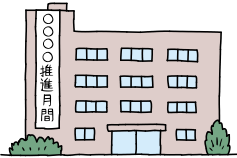
延岡市、南方小学校の目標を基盤として「まとめ」と「次の学年の準備」を！

新年明けまして、おめでとうございます。今年も昨年同様、教職員51名で子どもたちの成長に向けて邁進していきますので、御支援、御協力の程、よろしくお願いいたします。

さて、今年は元日から胸を締め付けられる甚大な災害や事故が起きました。特に能登半島地震では亡くなられた方、安否不明の方が多数であるとともに、交通網の寸断や天候等で今現在も断水、停電が続く等、復旧作業が進んでいない現状にあります。被災された方々が一日も早く「日常生活」を取り戻せること、地域の復興を祈るばかりです。

3学期始業式では冒頭、その能登半島地震の話を子どもたちにさせてもらいました。「当たり前の日常」を振り返り、そのことがいかに価値あることであるのか。その状況に改めて感謝しつつ、だからこそ、子どもたちには自己の成長に向けて「自身の一生懸命を発揮する学校生活！」に取り組んでもらいたいと強く願います。併せて3学期は、今年度の自身の成長に向けた「まとめ」と「次の学年に向けた準備」の学期であることも意識してもらいたいと思います。

そこで自己の成長のための基盤として、原点回帰、延岡市教育委員会と南方小学校の目標の確認と達成に向けた具体的な姿を2学期終業式に引き続き、始業式において子どもたちには提示させてもらいました。



延岡市教育委員会

こうどう

「**幸動**」

自他の幸せのために学び行動することの育成

目標達成のために南方小学校では・・・

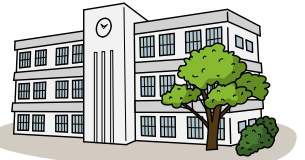
自立の力

2つ力を育成

貢献の力

特に身に付けてもらいたい力

特に身に付けてもらいたい心



南方小学校

「**話を聞く力**」

- ①先生や友だちの話を聞く
- ②話の内容がわかる
- ③話の内容について考える
- ④自分の考えを決める
- ⑤決めたことを発表する



※①～⑤の流れを「話を聞く力」としています

「**友だちを大切な存在と思う心**」

日常的には・・・

- ①友だちの「よさ」を見る・考える習慣

友だちとトラブル等があった時・・・

- ②その友だちとの「楽しかった場面」
その友だちから「助けてもらった場面」
その友だちから「優しくされた場面」
を思い出す習慣



※①②を心がけて接していく習慣が大切としています

多くの子どもたちが「幸動」、「自立・貢献の力」までは覚えてくれました。3学期はそこから「話を聞く力」「友だちを大切な存在と思う心」を理解・意識して、日常の学校生活を送り、力と心を身に付けてもらいたいと思います。

御家庭でも時として話題にしていただければ幸いです。